

議会報告会 報告書

地域名	熊次地区		
年月日	平成 24 年 5 月 15 日 (火)	会場名	大久保地区集会所
開始時間	午後 7 時 30 分	終了時間	午後 9 時 10 分
参加数	男 8 人	女 1 人	合計 9 人
班 長	勝地恒久	司会者	勝地恒久
報告者	竹浦昭男	書記	深澤 巧
班員名	勝地恒久、竹浦昭男、深澤 巧、北尾行雄 (議長) (安井義隆 欠席)		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①参加者が少ない。議会に対する期待が薄いのではないかと。会場設定など工夫したらよいのでは。予算特別委員会の指摘事項の中で「市道葛畑大久保線の予算措置」について説明が抜けている。関宮は道路行政が遅れている。</p> <p>②国際スキー場の今後について当局の考え方は。地元として指定管理者がない場合は、直営で続行できるよう議会としてがんばって欲しい。</p> <p>③ケーブルテレビのインターネットについて、行政が税金を使って将来的にもこのまま運営していくのは検討の余地があるのでは。運営委託会社の個人情報守秘について以前問題があった。</p> <p>④台風災害復旧工事の対象の基準は。災害復旧の申請が区長を通じてしかできない。県市の担当者が現場視察に来ても関係者には会わずに帰ってしまう。災害の前兆があることを伝えても職員は丁寧な対応をしてくれない。</p>	<p>①事業凍結になったことに対し予算化を早急に実施するようにと、委員会は指摘した。</p> <p>②指定管理制への移行である。そのために今年度多額の修繕費を計上している。指定管理には今年 12 月に議会議決が必要であり公募等の準備が早急に必要と考えている。今後の運営についてはまだ見えていない。議会内にもいろいろな意見があり議会としてまとまって意見を出すことは難しい。</p> <p>③運営経費、修繕改修等多額の経費を必要とする事業である。光ファイバーが導入できないことがネックになっている。民間会社の参入が困難である。同軸ケーブル回線でも接続速度の向上を図れる技術開発が進んでいる。養父市に一番良い方法が近く示される期待がある。市内の民間会社も事業商売の上で障害になっていることも承知している。</p> <p>④個人の申告も担当が区からの災害申請と照合すれば内容確認できる。そのような対応をするように申し入れをしておく。市民の相談について回答をすることは職員として当たり前、返事をしますとすべきだ。市長に直接申し入れをする。</p>	

意見交換会での質疑	<p>⑤高原に上がる県道部分の固定資産税の免除がなかなかされなかった。なぜ、市はこのことを取りあげてくれなかったのか。</p>	<p>⑤申し入れをする。</p>
その他（提言など）	<p>⑥「交流人口 150 万」の具体的な施策が見えてこない。道路案内標識にも工夫して観光誘導していくべきだ。小さなことでも知恵を出し、国県の補助金を獲得して実施してほしい。</p> <p>⑦ハチ高原の「交流促進センター」のバリアフリー化がされていない。地元議員には言いにくい。地元以外の議員も関心を持っていただきたい。エレベーターを設置してもらいたい。学校関係で障がい者も来場される。民間民宿業者についても、後継者がいる所ではこのような設備改修には補助制度をつくって欲しい。</p> <p>⑧合併 10 年後に交付金が減ると聞いている。八鹿病院のことも、病気予防の対策を強化すべき大事だ。吉井バイパスの約束は忘れないでほしい。</p>	<p>⑥自治協などで提案していただき、議会にも要望を出していただきたい。交流人口 150 万人の効果や町の活性化の姿が見えていない。議会としても今後資料請求等を行い研究していきたい。</p> <p>⑦地元議員に大いに要望してほしい。</p> <p>⑧合併後 10 年の養父市のあり方については、次期選挙での選出議員の責任でもある。病院については医師不足、入院と緊急について優先せざるを得ない、のが病院の言い分。バイパスについても、十分理解している。</p>
備考		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 24 年 5 月 18 日

報告者 4 班 班長 勝 地 恒 久 